



# ふくろう通心



## 弘前城植物園・藤田記念庭園 管理ボランティア「みどりフレンズ」大募集♪

一般財団法人弘前市みどりの協会では、弘前城植物園や藤田記念庭園で活動するボランティアスタッフ「みどりフレンズ」を募集しています。

「みどりフレンズ」とは、植物を身近に感じながら参加者の皆さまに楽しく学んでもらいたいという気持ちから名付けたボランティア活動で、弘前城植物園や藤田記念庭園を活動場所としており今年で活動を始めて6年目となります。(みどりフレンズと命名したのは昨年からです。)



活動内容として、弘前城植物園ではアジサイやバラの剪定、花壇への花苗植栽など、藤田記念庭園ではハナショウブの施肥や株分け作業など植物に関わる内容となっており、植物が好きな方はもちろん市内の企業さまや学生さんなどにご参加いただき、植物に触れながら世代を交えて交流できるのも「みどりフレンズ」の魅力の一つだと思っています。

参加にあたり特別な条件や資格も必要なく、作業に使用する道具もすべてこちらで用意しますので、動きやすく汚れてもいい服装（手袋もあれば）で気軽に参加できます。

「みどりフレンズ」は個人での参加はもちろん、お友達やご近所さん同士での参加も大歓迎ですので気軽にお問い合わせください。また、サークルやクラブ、学校や企業さまによる団体での参加も募集しております。(大人数での団体様は活動日前後の別日とさせていただきます場合がありますので事前にお問い合わせください。)

楽しく学んで気軽にワーク♪を目標に活動しておりますので是非この機会に参加してみませんか？たくさんのご応募をお待ちしております♪

### 申込み・問合せ先

一般財団法人 弘前市みどりの協会 藤田記念庭園管理事務所

電話 0172-37-5525 FAX 0172-37-5526

ホームページ <http://www.hirosakipark.or.jp/index.html>



# 4月から「ひろさきボランティアセンター」になりました

前回の第80号でお知らせしましたが、市では、この4月から、市のボランティア支援センターと弘前市社会福祉協議会のボランティアセンターを統合し、新しいボランティアセンター「ひろさきボランティアセンター」を開設しました。

市民の皆様のボランティアへの関心の高まりや、企業などの社会貢献活動が活発となってきており、ボランティアの必要性や役割への期待が大きくなっていることから、ボランティア支援業務の拡大と充実を図り、市民のボランティア活動の活性化につなげるため、新たに設置したものです。

2つのセンターを統合し、窓口を一本化することで、情報やノウハウを集約し、市民へのわかりやすさと利便性の向上を図ります。ボランティアに関する相談・コーディネートや情報提供、ネットワークづくり、講座の開催など、ボランティア活動の推進と支援を行う総合窓口として、市民の皆様のボランティア活動を応援します。



開設場所：ヒロロ3階ヒロロスクエア内  
開館時間：午前9時から午後8時まで  
休館日：12月28日から1月3日まで

公式 SNS から情報発信しています。



## ボランティアに興味のある方、センターに登録しませんか！ お待ちしております！！

ひろさきボランティアセンターでは、新しくボランティア登録制度を始めました。団体または個人で登録いただいた方へ、特技や興味のある分野に応じた活動の紹介を行うほか、アドバイスや活動に役立つ研修の情報なども随時提供します。

「過去のボランティア経験を活かしたい」、「ボランティア経験は無くても興味がある」、「引越しや退職をきっかけに何かを始めたい」、「ボランティアをしてみたいけど、どうしたらいいかわからない」という方など、まずは一度ご連絡いただければと思います。

また、ボランティアしてくれる人を紹介してほしいという場合や、イベント・行事等でボランティアを募集したい方からの相談にも応じています。

ご登録手続きの際はセンター窓口に届出用紙を提出いただくか、下記登録フォームをご利用ください。



団体ボランティア  
登録フォーム



個人ボランティア  
登録フォーム



ボランティア募集  
申込フォーム





# 弘前市社会福祉協議会のボランティア活動紹介

弘前市社会福祉協議会で実施している3つのボランティア活動を紹介します。



## ①弘前さくらまつり車いす応援隊

弘前さくらまつり期間中、弘前公園を訪れる高齢者や障がい者など歩行困難な方に対し、車いすの貸出や介助を行っています。



## ②愛の広場レクリエーションの集い

障がい児者が社会生活に融合することを願い、参加者と一緒にレクリエーションを楽しみ、交流を深めています。



## ③バリアフリーねぷた

バリアフリーのまち弘前を目指し、障がい児者と共に弘前ねぷたまつりに参加しています。



※ボランティアの募集は、弘前市社会福祉協議会ホームページに掲載しますので、ご興味のある方はホームページをご覧ください。

社会福祉法人 弘前市社会福祉協議会

〒036-8063 弘前市大字宮園二丁目 8-1 / 電話番号 0172-33-1161 /

ホームページ <http://www.hirosaki-shakyo.jp> 受付時間 8:30~17:00

## 豆知識



全国の収穫量で本県が約8割を占めるにんにく。収穫は6月下旬から7月にかけてピークを迎えます。

にんにくは収穫時期になると急激に肥大するため、収穫時期を過ぎると玉が割れてしまったり、早いと十分肥大しておらず鱗片が小さいまま収穫することになるため、収穫時期の見極めが難しい作物でもあります。

掘りあげられたにんにくは保存するために大部分がすぐさま乾燥の工程に回されますが、実はこの掘りあげられた生のにんにくはこの時期にしか食べられず、乾燥した物とはまた違った味わいがあります。

にんにく特有の風味はあまり感じられず、加熱すると安納芋のようなねっとりとしたみずみずしい食感は、普段食するにんにくのイメージとはかけ離れています。

スーパー等に並ぶにんにくは、ほとんどが乾燥されたもので、生のにんにくは二週間ほどしか保存がきかないため見かける機会は少ないですが、この時期しか出会えない生のにんにく。見かけたらぜひ試していただければ。おすすめは1個丸々皮付きのまま炭火で焼くと皮がホイル代わりになって蒸され止まらないおいしさです。



## ひろさきボランティアセンターの新メンバー(担当職員)を紹介します

4月からひろさきボランティアセンターの担当となりました安宅(あたか)と申します。実家のある秋田市へ行ったときは、おみやげにJA大潟村のパンプキンパイを買って帰ります。

かぼちゃの自然な甘みが美味しいパイで、直径約7cm、厚さ約1.5cmの品が個包装されており、価格は5個入りパックで500円程度と、職場でも配りやすいお菓子になっています。自宅用にも買ってありますが、大抵は帰路のうちから娘たちに食べられてしまい、私の分が残りません。

しかしお父さん用には地酒も買ってあるので大丈夫です。地酒を楽しみに安全運転で帰ります。何卒よろしくお願ひいたします。

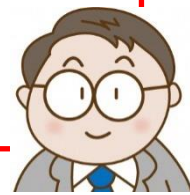


4月に弘前市社会福祉協議会から出向勤務となりました鶴見智之です。

新ボランティアセンターでは新しい事に取り組み、市民の皆様が気軽にボランティア活動ができる環境を整えて行きたいと思います。

新しい取り組みですので不安なところもありますが、わが心の師、アントニオ猪木のことは「この道を行けばどうなるのか 危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし 踏み出せばその一足が道となり その一足が道となる 迷わず行けよ 行けばわかるさ」を胸に精進してまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願ひ致します!



## 編集後記

### 「インバウンド」



私は以前、観光関係の部署で仕事をしていました。その当時、国内では、東京オリンピック・パラリンピックの開催も相まって、経済効果の大きいインバウンド(訪日外国人観光客)が注目されていました。

当市をはじめ県内でもインバウンドの取り込みに躍起となっていて、中国から青森空港への定期便が就航したり、青森港に大型クルーズ客船が寄港するなどした影響で、青森県を訪れる外国人が飛躍的に増加しました。弘前さくらまつりにも多くの外国人が訪れ、その対応に、弘前大学の留学生をはじめボランティアの方々が活躍しました。

桜、りんご、紅葉、世界遺産など、青森県は他県にもまして観光資源が豊富な県です。コロナ禍のため、今は隔世の感がありますが、一日も早くコロナが収束し、また多くの外国人が青森県や当市を訪れることを願ってやみません。(浩)

<制作>市民ボランティアスタッフ <制作協力>ひろさきボランティアセンター  
〒036-8003 弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3F ヒロロスクエア内  
TEL:38-5595 FAX:36-1822 HP:www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/  
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。

